

建設物価 建設資材物価指数[®] 2024年8月分 【速報】

建設物価 建設資材物価指数は、建設資材の総合的な価格動向を明らかにすることを目的に作成されており、その対象を建設工事で直接的に使用されている建設資材に限定した物価指数です。なお、本指数は2015年平均を100として算出しています。

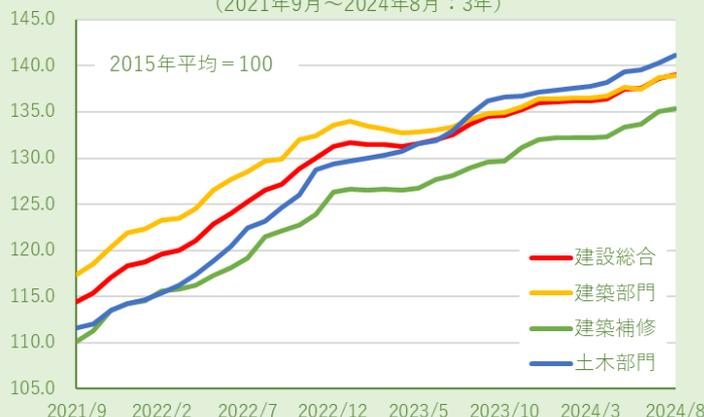
1. 指数の動向（全国平均）

8月の建設資材物価指数の動向は、**建設総合**(全国平均)が**139.1**となり、前月比+0.4ポイント(+0.3%)と16カ月連続の上伸となった。前年同月比では+5.4ポイント(+4.1%)となった。

部門別では、**建築部門**が**139.0**となり、前月比+0.2ポイント(+0.2%)と2カ月連続の上伸となった。前年同月比では+4.7ポイント(+3.5%)となった。**建築補修**は**135.4**となり、前月比+0.3ポイント(+0.2%)と5カ月連続の上伸となった。前年同月比では+6.4ポイント(+5.0%)となった。**土木部門**は**141.2**となり、前月比+0.8ポイント(+0.6%)と2020年5月以来51カ月連続の上伸となり、最高値を更新した。前年同月比では+6.4ポイント(+4.8%)となった。

建設資材物価指数【全国平均】

(2021年9月～2024年8月：3年)



2. 前月比寄与度（大分類別・全国平均）

プラス寄与

【金属製品】建設用金属製品

製造・輸送コスト増加分を転嫁したメーカーの値上げが市場に浸透し、指数動向のプラスに寄与

【窯業・土石製品】セメント製品

原材料費などの製造・輸送コストの増加によるコンクリート製品の価格上昇が指数動向のプラスに寄与

マイナス寄与

【非鉄金属】電線・ケーブル類

銅建値の急落に伴い、需要家の値下げ要求が強まったことで製品価格が下落し、指数動向のマイナスに寄与

【紙・木製品】構造用合板

需要低迷を背景に、販売店間の受注競争が激化した結果、製品価格が下落し、指数動向のマイナスに寄与

建設総合 前月比寄与度【全国平均】



建設総合 前年同月比寄与度【全国平均】



3. 都市別の動向（建設総合部門）

金属製品、窯業・土石製品に加え、一般機械製品（ポンプ等）の全国的な価格の上伸や、一部の地域におけるコンクリート用骨材、道路用砕石類の価格上伸が指数動向のプラスに寄与した。

各都市の指数動向をみると、【高松】（前月比+0.7%）では、コンクリート製品のうち、原材料費の高騰を背景としたPHCパイプの大幅な上伸が指数動向のプラスに大きく寄与した。【広島】（同+0.4%）でも同様に、コンクリート製品のうち、U形側溝や歩車道境界ブロックなどの価格上伸が、指数動向にプラス寄与する結果となった。【那覇】（同+0.4%）では、農産物の花き・花木類において、生産者・卸業者の人件費などの生産コスト増加分を転嫁した値上げが浸透し、指数動向にプラス寄与した。

各地の建設総合部門の指数【8月分】



一般財団法人
建設物価調査会

【指数に関するお問合せ先】

総合研究所 経済研究課 担当：若澤

TEL：03-3663-7235 E-mail：econ@kensetu-bukka.or.jp

【資材価格に関するお問合せ先】

調査統括部 調査統括課

TEL：03-3663-3892 E-mail：toukatsu@kensetu-bukka.or.jp